



専攻を考えるシリーズウェビナー（全学年生徒・保護者対象無料）

海外大学を視野に入れて将来の進路を検討している生徒諸君のために、主だった専攻分野でどんなことを学習するのかを知っていただく企画です。今回のテーマは「マーケティング」で、海外の専門家にウェビナー形式でご紹介いただきます。費用は無料ですが、事前申し込みが必要となります。申し込みは各自でお願いします。

日時：11月21日（火）18:00～18:45

18:00～18:30: Dr Lucill Curtis and Mr James Parslow-Williams によるレクチャー（英語）

18:30～ 質疑応答（英語&日本語）

※主催は UPAA (University Partnerships for Alternative Admissions) Japan

海外協定大学推薦制度というのがあり、本校も加盟しております。

イベントの詳細は以下のリンクからご覧いただけます。

https://cp1.supereigo.com/flyer/Marketing_Flyer/index.html?detailFlg=0&pNo=1

事前申し込みは以下のリンクより各自でお願いします。

https://zoom.us/webinar/register/5216992365888/WN_plAL6skWSS6ob1P0Kt9Sjw

II マーケティング(学)とは

すべての企業や組織は、自社のブランドや製品を消費者に伝える方法を必要としています。世界のどこにいたとしても、常にマーケティングのスペシャリストへの需要があることを意味しています。

マーケティング(学)はまさに社会の方向性とともに変化しなければならない分野であり、高い求人率を誇る分野でもあります。マーケティングという仕事は、売上を伸ばすことや、製品・サービスの宣伝を消費者に適切に届けること以外にも、ブランディング、メディア、コミュニケーション、データ分析など多岐にわたり、マーケティングの未来はテクノロジー、特にAIと非常に高い相関関係にあります。マーケティングという分野は、人々が考える以上に多様性に富んでいるのです。

マーケティング(学)は、現代のデジタルだけや従来のアプローチだけに焦点を当てているわけではありません。マーケター(マーケティング業務に従事する人)の仕事は、利用可能なあらゆるツールを駆使して、ターゲットとなる消費者と相対することと言えます。

当日の講師紹介

|| ルシル・カーティス博士

ルシル・カーティス博士は、ビジネス・スクールでマーケティングの准教授を務めています。入学・マーケティング担当ディレクターそしてティーチング・プログラム・ディレクターとして、シニアリーダーシップチームとエグゼクティブチームの一員として、学生支援に努めています。



|| ジェームス・パースロー・ウィリアムズ先生

ジェームズ・パースロー・ウィリアムズ先生は、ビジネス・スクールのマーケティング講師です。「マーケティングの原則」のモジュールを編成し、「デジタル・マーケティングとサービス経済」と「マーケティングと管理」の授業も支援しています。



私たちが日頃スーパーやコンビニで買い物をする際に目にする商品はその背後でどんな年齢層の人が、どの時間帯に、どんな天候で購入するのかといった情報が詳細に調査されています。そのデータに基づいて特に食品の場合はフードロスが生じないように生産数を変えたりする工夫がされます。テレビCMはどの年齢層をターゲットにするかでどんなタレントを起用するかを工夫したり、短い時間の中で環境に配慮しているなどのアピールポイントをどう効果的に伝えていくのかを調べ上げた上で作られていきます。たかが1分程度のCMにも相当の資金が投入されていてマーケティングの理論が何らかの形で応用されています。その意味でも日常生活に深い関わりのある学問分野と言えるのではないのでしょうか。興味のある生徒諸君はぜひ参加してみてください。

米国大学生と共に学ぶオンラインプログラムのご案内（中3～高3生徒対象）

プログラム名：Liberal Arts HUT Fes 2024 powered by アメリカ大使館&HLAB

主催：一般社団法人 HLAB、在日米国大使館

対象：中3～高3

日時：2024年1月28日（日）

【午前】セミナーセッション#1 9:00～10:30 同#2 11:00～12:30

【午後】Info Session #1・2 13:30～15:00 Roundtable Session 15:30～17:00

全5セッションの中から選択（各講座25名程度）

形式：オンライン

使用言語：英語・日本語（セミナーは原則英語で、バイリンガルの学生がサポート参加。Info Session と Roundtable Session は日本語のみを予定）

費用：無料

参加資格：

- 1) 2023年12月時点で日本の中学校に3年生として在籍していること。もしくは日本の高等学校、高等専門学校、インターナショナルスクールに在籍していること。

Info Session は保護者の方もご参加いただけます。

- 2) プログラムの参加にあたって保護者の了承が得られていること。
- 3) プログラム内の授業に真摯に取り組めること。

無断キャンセルの場合は今後の HLAB の企画への参加をご遠慮いただく可能性がございます。

申込：各自でお願いします。

詳細及び事前登録は以下の URL からご覧いただけます。

<https://h-lab.co/hut/>

以下公式 HP より情報を転載します。

◆HLAB (エイチ・ラボ) とは？

HLAB は、将来の不確実性と多様な選択肢が混在する現代において従来の「学校」の形を超えた新たな教育を提唱します。

HLAB の「H」は、「学寮 (カレッジ) 生活を中心としたリベラル・アーツ教育」という HLAB のコンセプトから、人的交流の「Hub (ハブ)」となる「House (寮)」を意味しています。

また「LAB」は、「Liberal Arts beyond Borders」(ボーダーを越えるリベラル・アーツ) の頭文字です。世代や国籍、分野を越えて互いから学ぶリベラル・アーツ教育を提供するという HLAB のミッションを表すとともに、新たな教育の形を日本で実現するための実験の場 (ラボ) になって貰えればという思いが込められています。

2011 年に、「学寮 (カレッジ) 生活を中心としたリベラル・アーツ教育」を短期間で再現することを目指して、サマースクールをはじめました。

サマースクールは東京からスタートし、現在では東京都、長野県小布施町、宮城県女川町、群馬県、愛媛県の 5 箇所で開催されています。

そして 2020 年 12 月、東京下北沢にレジデンシャル・カレッジ第 1 号として SHIMOKITA COLLEGE を開業しました。

◆Liberal Arts HUT について

これまで、のべ 1000 名以上の中高生が参加した大好評企画の Liberal Arts HUT が 1 Day Fes としてパワーアップして帰ってきました。2024 年版「Liberal Arts HUT」は、家からリベラルアーツ体験ができる、中学 3 年生から高校生を対象としたプログラムです。

このプログラムでは、HLAB が大切にするピアメンターシップの理念の元、リベラルアーツの体験ができます。高校生と大学生が画面越しに議論をし合う、現代版の「寺子屋 (Hut)」のような空間をオンラインで実現します。

HLAB は異なる人生を歩む人々からの学びから、将来の進路選択、キャリア選択を考えるきっかけを提供してきました。その中で、選択肢のひとつでもある留学にフォーカスを当てた企画であり、HLAB と在日米国大使館が連携して実施するプログラムです。世界的に見て、米国に留学する学生は少なくないものの、昨今では日本から米国大学へと進学する学生の数は減少傾向にあります。本プログラムは、米国留学への敷居の高さを解消し、選択肢の一つとして捉えてもらうことを目的としています。2024 年冬、アメリカ名門大学に通う学生との交流を通じ、普段とは異なる学びの体験をしてみませんか？

◆在日アメリカ大使館について

アメリカ大使館は、日本とアメリカの相互理解を深めるためアメリカ留学や人物交流プログラムの実施や支援をしています。また、特定の学校情報に偏らない中立的な立場から、アメリカ留学に関する情報提供を行っています。日本の生徒にアメリカの教育や英語で学ぶ環境を体験していただく機会を創出するため、また、アメリカ留学への興味や意欲の醸成に繋がることを期待し、HLAB と提携することを決定しました。本プログラムは、アメリカ大使館助成金プログラムです。

*イベントの内容を紹介したチラシが学校に届いています。希望する生徒諸君には差し上げますので2号館2階グローバル教育部の部屋までどうぞ。金曜日は担当者が不在となりますのでご注意ください。

タイムテーブル

January 28 (Sun)	
9:00-10:30	Liberal Arts Seminar #1
11:00-12:30	Liberal Arts Seminar #2
13:30-15:00	Info Session #1 Info Session #2
15:30-17:00	Roundtable Session

House
教育「寮」の再現

H **L** **LAB**

エイチ・ラボ

Liberal
Arts beyond
Borders
ボーダーを超えるリベラル・アーツを